

## 内科(必須)臨床研修プログラム

### 目的:

・医療人として必要な基本姿勢・態度を身につけ、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を修得する。

### 特色:

・内科学会の教育関連病院、各専門分野(循環器病学会、糖尿病学会、消化器病学会、消化器内視鏡学会、腎臓学会、透析学会など)の認定指導施設であり、質の高い内科全般の研修ができる。

・当院は 24 時間救急診療に対応しており、年間約 5000 件の救急搬入がある。各指導医は救急診療や日常の基本的疾患(頭痛、感冒など)のプライマリ・ケアから各専門分野での特殊治療(血液浄化法など)まで連続して従事しており、日常診療の中から重要疾患の診断と治療が研修できる。

### 内容:

・卒後一年次研修の 6 ヶ月間を内科研修とする。5 階病棟(循環器、糖尿病)、2 病棟(腎)、7 階病棟(肝臓、総合内科、呼吸器)、8 階病棟(消化器、脳内)をローテートし、各病棟の指導医がマンツーマンで指導する。即ち、指導医担当患者の副主治医として、病棟、外来、検査、などの全ての診療業務を補佐する。

・指導医は common disease の診断と治療、基本的な診察・臨床検査・診療手技の指導を中心に、厚生労働省が提唱する内科的必修項目を研修できるように努める。

・基本的検査・診療手技の修得のために、適宜、病棟看護師、検査技師の協力を要請する。

・研修内容は各研修医の能力に応じて進展し、各指導医の専門とする疾患の診断と治療にまで拡大する。

## I. 内科(必須)臨床研修プログラム指導医

指導責任者: 檜沢 一興

総合内科:	古賀 恒久
糖尿病内科:	五島 大祐 豊永 雅恵
循環器内科:	鍵山 俊太郎 前淵 大輔 関 拓紀
消化器内科:	檜沢 一興 藤田 恒平 飯田 真大 鷺尾 恵万
呼吸器内科:	古藤 洋 中島 信隆 中富 啓太
肝臓内科:	東 晃一
脳血管内科:	竹迫 仁則 牧原 典子
腎臓内科:	水政 透 牧 建次
心療内科:	河田 浩

(2年次選択のみ)

## II. 期間

6ヶ月間

## III. 内科(必須)プログラム内容

### ① プログラム目標

糖尿病・内分泌内科

1. 糖尿病患者の病歴、症状と身体所見を正確にとり、病態と合併症の診断ができる。
2. 糖尿病・内分泌負荷試験、甲状腺・副甲状腺・副腎シンチを実施し説明できる。
3. 糖尿病患者の基本的な治療方針の決定が行える。
4. 食事療法・運動療法について心臓、腎、網膜、神経合併症に対して個別の指示が行える。
5. 経口血糖降下薬とインスリン投与の決定ができる。
6. 糖尿病性昏睡の診断と治療ができる。

## 循環器内科

1. 循環器系疾患患者の病歴、身体所見を正確にとる。
2. 心電図(標準12誘導)をとり、判読できる。
3. 心エコーの基本的手技を習得する。
4. トレッドミル、心筋シンチ、心カテ検査の意義と適応を理解し、適宜実習する。
5. 基本的な循環器薬の使い方を理解する。
6. 電氣的除細動の適応を理解し、施行できる。
7. 以下の疾患の担当医となり、診断と治療を経験する(心不全、狭心症、心筋梗塞、心筋症、主な頻脈性・徐脈性不整脈、僧帽弁・大動脈弁膜症、閉塞性動脈硬化症、大動脈瘤、深部静脈血栓症、肺梗塞、本態性・二次性高血圧症)

## 消化器内科

1. 腹痛患者の基本的診断と治療(20例以上)
2. 特に逆流性食道炎, 消化性潰瘍, ピロリ菌, 感染性腸炎の診療
3. 消化管腫瘍の内視鏡切除(数例)
4. 腹部超音波・消化管X線・内視鏡所見の基本的読影
5. 腹部超音波・消化管X線装置・内視鏡機器の基本操作の習得(20例以上)

## 呼吸器内科

1. 呼吸不全患者への初期対応(酸素投与、BiPAP、人工呼吸器装着)ができる。
2. 胸部単純レントゲン写真・胸部CTで致命的疾患を見落とさず、読影できる。
3. スパイログラムの結果を解釈できる。
4. 代表的疾患(肺炎、気管支喘息、肺癌、間質性肺炎)に対する検査計画立案と初期治療が実施できる。
5. 気管支鏡の適応を検討することができる。

## 肝臓内科

1. 肝炎・肝障害の鑑別診断ができる。
2. 肝腫瘍の鑑別診断ができる。
3. 腹部エコーの基本操作ができる。
4. 急性肝炎の治療ができる。
5. ウイルス性慢性肝炎の自然経過を理解し、その上で治療方針の決定ができる。
6. 肝硬変及びその合併症の診断、治療ができる。
7. 肝細胞癌の治療方針の決定ができる。
8. 肝生検、経皮的局所療法(エタノール注入、ラジオ波焼灼)の方法が理解でき、助手として術者のサポートができる。

## 脳血管内科

1. 神経学的所見がとれ、病巣の推定、病態の判断ができる。
2. 脳卒中の病型診断とそれに基づく急性期管理ができる。
3. 意識障害患者の鑑別ができる。

4. 頸部血管エコー、経食道心エコーを指導医とともに実施できる。
5. 脳外科手術の適応を理解し、術中・術後の管理を指導医とともに実施できる。
6. 介護保険、病診連携を理解し、患者の QOL を重視した慢性期の治療・療養計が作成できる。

#### 腎臓内科

1. 腎臓内科疾患の病歴の聴取、身体所見を正確に把握できる。
2. 検尿検査、血液検査、腎エコー検査を適切に行い、その結果を評価できる。
3. 急性腎障害、慢性腎臓病の原因、検査結果、治療を理解する。
4. 輸液、電解質管理を適切にできる。
5. 透析療法、移植療法に関して理解し、適宜実習する。
6. バスキュラーアクセス、ペリトニアルアクセスに関して理解する。
7. 腎生検の適応、実際を理解する。
8. 主な疾患の担当医となり、診断・治療を経験する。

#### 心療内科

1. 心身症患者の病歴、症状、身体所見を正確にとり、病態仮説が立てられるようになる。
2. 傾聴・共感的理解・患者-治療者関係の重要性を理解し、基本的な心理面接ができるようになる。基本的な心理テストの意義・適応・判定法・判定上の注意について理解する。
3. 抗うつ薬、抗不安薬、睡眠導入剤などの向精神薬について、作用機序、適応、副作用について理解する。
4. 初診外来にて、インテーク面接を行い、科での対応可能かどうか、患者のニーズや問題点の把握、心理社会的背景に関する情報収集ができるようになる。
5. 患者の家族・職場などへの環境調整について理解する。
6. 緩和ケアチームの回診に参加し、チーム医療・緩和治療・ケアを経験する。

### ② 週間スケジュール

#### 【糖尿病・内分泌】

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00～8:30			救急カンファ			
午前	外来診察	・トレッドミル 運動負荷 ・救急車対応	外来診察	外来診察	外来診察	* 講義 * ACLS
午後	外来診察	糖尿病回診	外来診察	外来診察	外来診察 内科回診	
17:00～17:30	内科医局会				救急症例検討会 2,4週	

【循環器内科】

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00～8:30	心カテ カンファ		救急 カンファ		カテ 読影会	
午前	心筋 シンチ	生理判読 (心電図等)	心筋 シンチ	外来診察	トレッドミル	* 講義 * ACLS
午後	生理判読 (心電図等)	心カテ	外来診察	心カテ	外来診察	
17:00～18:00	内科医局会				救急症例検討 会 2,4 週	

【消化器内科】

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00～8:30			救急カンファ			
午前	内視鏡検査 (上部)	内視鏡検査 (上部)	新患外来 の診察	消化管 X 線 検査	内視鏡検査 (上部)	* 講義
午後	内視鏡検査 (下部)	入院患者 の処置	入院患者 の処置	内視鏡検査 (下部)	内視鏡検査 (下部)	
17:00～18:00	内科医局会		フィルム チェック	術前カンファ		

【肝臓内科】

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00～8:30			救急カンファ			
午前	外来診察	外来診察	病棟診察	外来診察	胃カメラ	* 講義 * ACLS
午後	肝生検 肝癌治療 (PEIT・ラジ オ波)	病棟診察	肝生検 肝癌治療 (PEIT・ラジ オ波)	病棟診察	病棟診察  回診	
17:00～18:00	内科医局会				救急症例検討 会 2,4 週	

【脳血管内科】

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00～8:30			救急カンファ			
8:30～9:00	リハビリ カンファ					
午前					脳血流 シンチ	* 講義 * ACLS
午後	経食道 エコー		経食道 エコー	頸動脈 エコー		
17:00～18:00	内科医局会				内科カンファ 救急症例検討 会 2,4 週	

【腎臓内科】

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00～8:30			救急カンファ			
午前	HD	HD 腎外来	HD 腎外来 PD 外来	HD PD 外来 腎生検	HD 腎外来	HD
午後	回診	腎外来 手術(局麻)	腎、PD 外来 手術(全麻)	PTA	腎外来 透析カンファ、 PD カンファ	
17:00～18:00	内科医局会				救急症例検討 会 2,4 週	

【心療内科】

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8:00～8:30			救急カンファ			
午前	外来新患	外来診察	外来新患	外来診察	外来新患	
午後	外来診察 緩和回診	外来診察 緩和回診/ カンファ	外来診察 緩和回診	外来診察 緩和回診	外来診察 緩和回診	
17:00～18:00	内科医局会			抄読会/ ケースカンファ	救急症例検討 会 2,4 週	

IV. 評価

EPOC および当院独自の評価法を加える。(別紙)